

やっぱり野球が好き

三里塚ライナース

ぼくたち三里塚ライナースは、2年生1人、3年生2人、4年生5人、5年生7人、6年生5人の計20人で活動している少年野球チームです。土・日曜日と祝日に、主に遠山スポーツ広場で練習しています。

普段は、土曜日の午前はバッティング、午後は守備を監督やコーチの指導の下しっかり練習し、日曜日の練習試合に備えます。チームのみんなに人気があるのは、バッティングの練習。特に、セカンドにランナーがいると想定して、右方向を狙って打つ練習では、思い通りの方向に打球が飛ぶと、とても気分がいいです。

コーチには「前に出てエラーするのはいいが、後ろに下がってエラーするのはいけない」と言われます。これは、「絶対ボールを捕るぞ」という積極的な気持ちでプレーした結果、失敗するのはいいけれど、自信がなく消極的なプレーでエラーをするのはよくない、という意味だそうです。ほかにも、「行動を素早く」と言われているため、日頃の練習から、守備に就くときは守備位置まで全力疾走を心掛けています。

学校では、グラウンドを広く使えないのと、危ないという理由で、休み時間に野球をすることは

ありません。ドッジボールやサッカーをして遊ぶことがほとんどで、野球ができるのは練習がある週末だけです。それでも、一番好きなのは、やっぱり野球。チームのみんなと協力しながら試合をしたり、ピッチャーの調子が悪いときに声を掛けたりするところがいいです。最近の大会では、成田空港旗杯少年野球大会でベスト8に勝ち進みました。県大会出場を目標に、これからも野球に打ち込みたいと思います。



ゴロは腰を落として捕球



よし、打ってやる



金澤 雄馬 キャプテン(6年生)

試合中は声を出して、仲間がミスしても、みんなで盛り上げます。

クラブ訪問 181

謡曲で味わう日本の心

梅成会

わたしたち「梅成会」は、毎月2回、成田公民館で謡曲を楽しんでいるサークルです。

謡曲とは、室町時代につくられた演劇である能楽の台本のことで、登場人物のせりふや心情物語の情景を独特の節回しで謡うものです。

門前町の人々は、古くから謡曲に親しんできました。ご指導くださる久保田さくい先生も幼少の頃から習い、能楽の一門である梅若宗家に入りました。そのご縁で宗家より特別に



門前町の伝統を引き継いでいます

「梅」の一字をサークル名にいただきました。

普段は曲ごと

に4・5人に分かれて練習します。まず始めに、先生が曲を通して謡ってください、わたしたちは教本を目追いながら、曲の



物語を楽しみながら練習

雰囲気をつかみます。息と共に声を出す独特の発声方法や、場面の雰囲気に応じて変化させる節回しに難しさを実感する反面、ここに謡曲の奥深さを感じます。次に、先生の後について謡います。このときに先生がくださる謡い方や主人公の心情などについての説明から、曲への理解を深めていきます。練習の様子は録音して、家で何度も聴き直し勉強します。

年に3回ほどある発表会では20人ほどがそろい謡います。県の謡曲会に参加したり、毎年5月に行われる成田山新能では前座を務めたりもします。集団で謡うときは、地頭と呼ばれるリーダーの声に合わせて、声の高さや間、速度がばらばらにならないように気を付けます。

演目の中には、和歌が登場するものも多く、古典文学が好きで入会したメンバーもいます。現代では使われなくなった言い回しを声に出すと、日本語の美しさをしみじみと感じます。これも謡曲の大きな魅力。あなたも、わたしたちと一緒に謡ってみませんか。

スクスクのびのび



大堀 紗蘭ちゃん(1歳)本城

とっても人懐っこい娘。トンネルを出たり入ったり、のぞいてにこにこ楽しめます。

鬼海 心結香ちゃん(4歳・左)西三里塚
明衣香ちゃん(3歳)

仲良し姉妹です!



箕田 悠人くん(1歳)三里塚光ヶ丘

わんぱくでもいので、たくましく育てほしいです。

このコーナーには市内在住で5歳までのお子さんの写真を掲載しています。お気に入りの1枚が撮れましたら、ぜひお寄せください。

- 応募方法 お子さんの写真に住所・氏名(ふりがな)・生年月日・親の名前・電話番号・30字程度のコメントを添えて広報課へ
- 応募先 〒286-8585 花崎町760 成田市役所広報課
- 問い合わせ 広報課 ☎20-1503